

あぐりめ～る新川

第92号(令和3年8月発行)
富山県新川農林振興センター
〒938-0801 黒部市荻生 3200
(TEL) 担い手支援課 (0765) 52-0268
(0765) 52-5192
農業普及課 (0765) 52-0094
(0765) 52-0945
(FAX) (0765) 52-3115

新川 農業の未来を担う人 ～第37回～ 村井 斉昭 氏 (黒部市前沢)

～ 地域を支えるために ～

村井斉昭さんは富山県立大学短期大学部を卒業後、農業に携わりたいとの思いから JA くらべに入組されました。営農指導員としての勤務を通して”自ら農産物を生産したい”という意欲が次第に強くなり、JA くらべを辞め、有限会社アグリ池田に入社されました。その後、前沢地区に農事組合法人前山が設立されたことをきっかけに、同法人の理事に就任されました。

農事組合法人前山の経営概要は水稻 46.8ha (うち 2.2ha が種子)、そば 1.5ha、小菊 8a ですが、今後は耕作放棄地の解消を図りながら経営面積を拡大する意向を持っておられます。

現在、基幹的な作業を担うとともに庶務部長として助成金申請等に当たっての資料作成、出役調製等のスケジュール管理を担当する等、同法人を支える存在となっています。



～ 地元黒部を盛り上げていきたい ～

村井さんは農事組合法人前山の理事として忙しい日々を送る中、農業を通じて黒部を盛り上げていきたいと考えておられ、今年度は前沢地区の住民の皆さんの収穫作業体験を企画することとしています。また、加入されている JA 青年部員として、企業団体と連携した農作業体験等の企画にも取り組んでいます。

農業は「同じことの繰り返し」ではなく、「より楽しくしていきたい」と強く語る村井さん。今後も黒部市前沢地区の農業をけん引する若き農業者の一人として、益々の活躍が期待されます。



目次 P. 2～3 . . . 高品質米生産のポイント (水管理・刈り取り・乾燥)

P. 4～7 . . . 園芸作物栽培のポイント ～夏秋編～

P. 8～9 . . . 気象災害による農業被害と対策について (8～11月)

P. 10 豚熱も「ワクチン」「密回避」が感染拡大防止の要!

耳より情報 . . . 農業経営者の皆さんへ♪

【あぐりめ～る新川別冊】 農作業安全「リスクカルテ」(コンバイン収穫、高所作業)

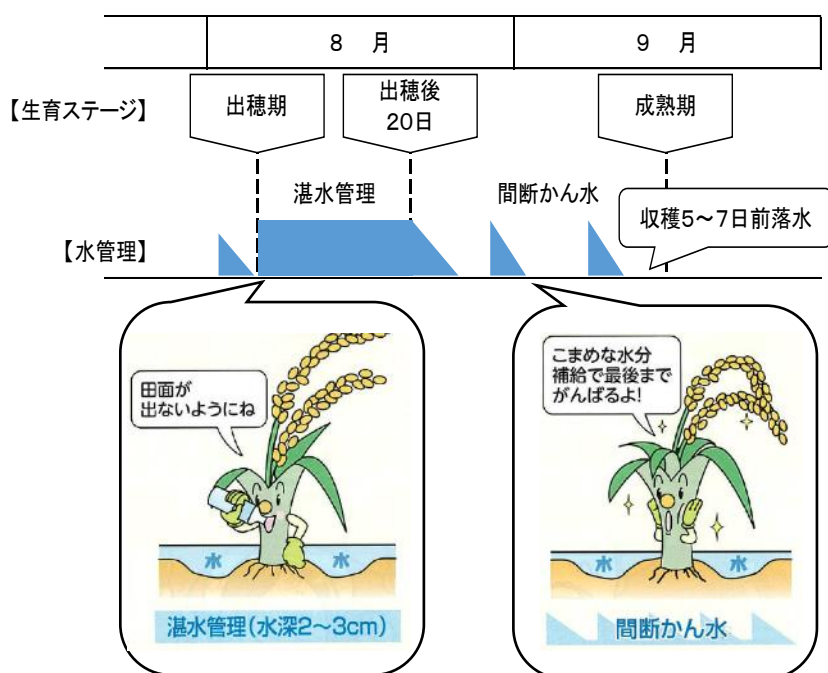
高品質米生産のポイント（水管理・刈り取り・乾燥）

稲の収穫まであと1か月ほどとなりました。胴割粒や白未熟粒の発生を防ぎ、高品質でおいしい「富山米」を食卓へ届けるため、「刈取直前までの水管理」、「適期刈取り」、「適切な乾燥」に努めましょう。

1 刈取直前までの水管理により、稲体の活力を維持！

胴割粒や白未熟粒による品質低下を防ぐには、生育時期に合わせた水管理を刈取直前まで確実にを行い、稲体の活力を維持することが重要です。

〈水管理のイメージ〉



【出穂期から20日間】

水深2～3cmの湛水管理を行う。
ただし、ためっぱなしにせず、定期的に水を入替える。
かけ流しは絶対に行わない。

【20日間の湛水管理以降】

収穫5～7日前まで間断かん水を行い、登熟向上に努める。
ただし、フェーンが予想される場合は、あらかじめ入水しておきましょう。

水不足になると品質が低下しちゃうよ



2 適期刈取りにより、被害粒の発生防止！

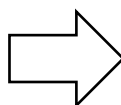
(1) 胴割粒等の発生防止

刈取適期を外すと、青未熟粒、胴割粒、穂発芽などが発生しやすくなります。その中でも、刈遅れが発生の一因となる胴割粒は、精米歩留りが低下するとともに、炊飯時の食感が悪くなることから、米穀業界では最も嫌われます。

このため、作付面積が大きい経営体では、特に刈遅れに注意する必要があり、事前に、1日あたりの収穫・乾燥能力に基づいた作業計画を立て、適期内に収穫作業を完了できるようにしましょう。

早刈り：青未熟粒

刈遅れ：胴割粒、穂発芽



適期内での刈取りが重要!!

(2) 刈取り時期の目安

気象条件により変動する刈取り適期を判断するためには「出穂後の日数及び積算温度」ととも

に、「籾黄化率」を目安にすることが重要
です。

①出穂後の日数及び積算気温

出穂後の日数と積算気温が刈取り時期
の目安となります。

②籾黄化率

一株の穂数や一穂の籾数の多少によ
り、穂の熟色の様相は異なるため、ほ場全体の籾の黄化率を確認し、85～90%程度が黄化した頃
が刈取り時期の目安となります。また、高温年の場合は、籾黄化率80%程度が刈取り始めの目安で
す。

表 出穂後日数と積算温度による刈取り時期の目安

品種区分	出穂後日数	積算気温
早生	35日頃	950～1,000℃
中生	40日頃	1,000～1,050℃
晩生	50日頃	1,050～1,100℃

コシヒカリの刈取りの目安



高温年の刈取り始め



通常年の刈取り始め



登熟前半が異常高温となった場合（出穂後 20 日間の平均気温が 28℃を超える）

胴割粒が発生しやすいため、以下の点に気を付けましょう。

- 刈取りの5～7日前までの間断かん水を確実にいきましょう。
- 近年のような高温条件下では、籾の黄化が促進され、籾の見た目以上に玄米の青みの抜け
が早いため、黄化率80%を刈取り始期とし、胴割粒の発生防止に留意してください。（通
常より4日程度早く収穫する必要があります。）

3 適切な乾燥

過乾燥米になると胴割粒が多発し、品質が著しく低下するため、適切な乾燥に努めましょう。

- 毎時乾減率0.8%以下でゆっくり乾燥
- 収穫時の籾水分に応じた乾燥
- 仕上げ玄米水分は14.5～15.0%に

収穫時の籾水分	乾燥作業のポイント
25%以上	① 搬入後、2～3時間の通風乾燥 ② その後、二段乾燥 (籾水分17%で一旦停止、半日後に再乾燥)
20%未満	機種標準-5℃の送風温度で乾燥

「秋の農作業安全運動」(8/20～10/20)が始まります！

本県では、コンバイン作業中の事故が多くなっています。

事故防止に十分注意しましょう。

※別添の農作業安全「リスクカルテ」もご覧ください。

園芸作物栽培のポイント ～夏秋編～

経営の複合化品目として、白ねぎと旧盆切り花、小粒いちじくの夏秋時期の栽培のポイントを紹介いたします。

1 白ねぎ - 本年度の作付けに向けた排水対策 -

本年の水稲早生跡や初夏どり野菜（キャベツ、ニンジン等）跡、大麦跡、大豆跡を選定するとともに、本年の8～10月の間に以下の排水対策を実施することで、高い排水効果が得られます。

(1) ほ場周辺の確認と対策

- ・ 作付予定ほ場が水稲作付予定ほ場と隣接していないか、用水からの漏水はないか、道路からの雨水の流入の可能性はないかを確認します。
- ・ 水稲作付け予定ほ場と隣接する場合は、畦塗り機等を利用して水の侵入防止に努めます。
- ・ 漏水、浸水のある場合は、水が流入してくることが予想される畦畔、用水路、道路に沿って、幅2m程度の不耕起地帯を設けます。

(2) ほ場内の確認と対策

① 田面から落水口（排水口）底面までの落差（目標 30cm 以上：図1の①の深さ）

- ・ 落差が30cm以内の場合は、畦畔を割って深い排水口を掘り、そこから排水されるようスクリーオーガ等で額縁排水溝を施工します。
- ・ 畦畔を割ることができない場合は表面排水ができないので、ほ場を変更します。

② 田面から排水路の水面までの落差（目標 50cm 以上：図1の②の深さ）

- ・ 落水口までの落差が30cm以上あっても排水路の水面までの落差が50cm以内の場合は、降雨により水が逆流しますので、ほ場を変更します。

③ 礫層（礫の直径5cm以上、断面の礫面積率50%以上）の出現位置

- ・ 土を掘り、礫層の出現位置を確認します。
- ・ 0～30cmで出現する場合は地表排水を徹底します。
- ・ 30～40cmで出現する場合は、額縁排水溝を施工し、礫層上部までの暗渠をサブソイラで斜め掛けに施工します（図2）
- ・ 礫層が40cmより深い場合や礫層が出現しない場合は、本暗渠があれば額縁排水溝を施工し、深い暗渠をサブソイラで斜め掛けに施工します（図3）。

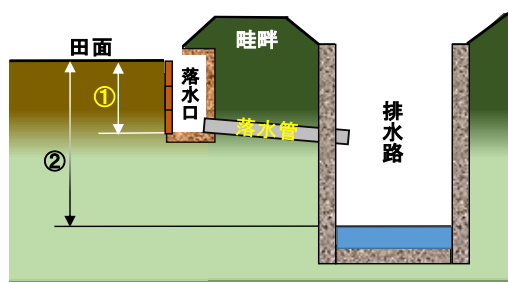


図1 田面から落水口や排水路の水面までの落差

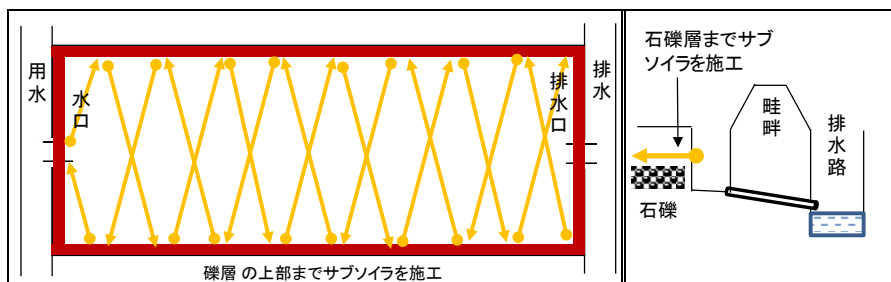


図2 30～40cmで礫層が出現する場合

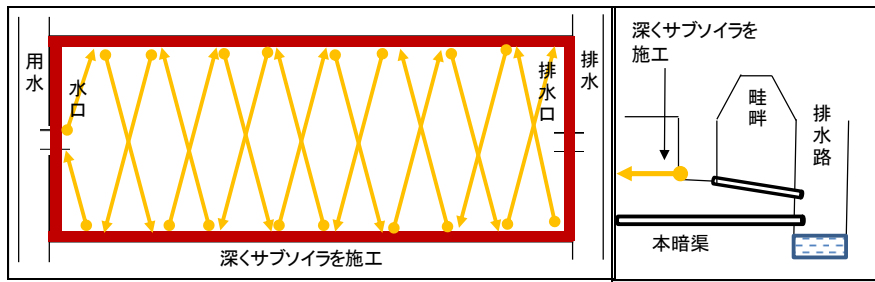


図3 礫層の出現位置が田面から40cmより深いまたは礫層が出現しない場合(本暗渠がある場合)

- 本暗渠がない場合は、排水口に深さ30～50cmの集水マスを掘り、ここからサブソイラで放射状に深い暗渠を施工し、それよりも浅く交わるように斜め掛けに暗渠を施工します。
- また、集水マスにたまった水はポンプ等で速やかに排水します(図4)。

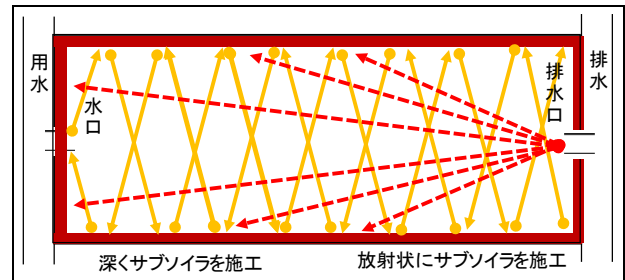


図4 礫層の出現位置が田面から40cmより深いまたは礫層が出現しない場合(本暗渠がない場合)

(3) 明渠(額縁排水溝)施工の注意点等

- スクリューオーガ等を利用し、深さ30cm以上の溝を掘ります。溝切り後、必ず四隅は連結します。また、排水溝の水がほ場外に排出されるように額縁排水溝は必ず排水口につなぐとともに、排水口は深く掘り下げます(図5、6)。
- 長さ80m以上の定植溝の場合は、中央に1カ所横溝を切り排水を促します。
- ゲリラ豪雨等に備えて、排水溝の隅を深く掘り下げ、ポンプで排水できる準備をします。
- 暗渠施工ができない場合は、ほ場内に数本、排水溝を掘ります(図7)。



図5 四隅の連結



図6 排水口との連結



図7 ほ場内排水溝

(4) 暗渠施工の注意点等

- サブソイラ等を利用し、深さ30～40cmで施工する。間隔は5mを目標とします。
- 施工しても、降雨後に乾いていない部分があれば、その部分に再度施工します。

(5) その他の排水対策等

- ほ場がよく乾いた状態で定植時の溝切りを実施できるようにするため、耕起と溝切りを同日に行います。また、碎土率を上げるため、耕起時の作業速度を低速、ロータリ回転(P T O)を高速で行い、耕起回数は2～3回とします。

2 小粒いちじく（水稻育苗ハウス利用の根域制限栽培）－ 収穫、調製作業 －

（1）成熟に伴う果実の変化

成木の収穫期は、「コナドリア」は8月中旬頃から、「ネグローネ」は9月上中旬頃から始まりますが、ハウスに搬入する時期やハウス内の気温によって前後します。

以下の成熟に伴う果実の変化を確認し、収穫遅れにならないよう気を付けましょう。

- ・果頂部側がやや扁平になり、「目」の部分が開いてくる。
- ・果肉が軟らかくなる。
- ・果実が下垂してくる。
- ・果皮の色が変化する。

「コナドリア」：緑色が薄くなり、やや黄色みを帯びてくる（写真4）。

「ネグローネ」：ほぼ全面が紫黒～赤紫色に着色する（写真5）。

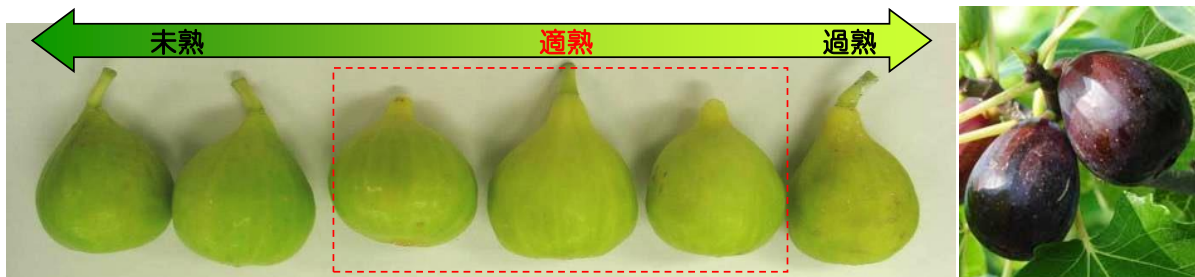


写真4 成熟に伴う「コナドリア」の果皮色の変化

写真5
成熟期の「ネグローネ」

（2）収穫のポイント

- ・収穫適期や基準は、果皮の色や果実の形、下垂程度や食味を確認して決定します。
- ・果実の成熟程度に応じて1～2日に1度、果実温度が低い早朝に収穫します。
- ・収穫はハサミを用い、極力、結果枝側で果軸を切り離します。
- ・適熟となった果実は、果皮が薄く傷みやすいので、収穫時した果実は緩衝材を敷いた平コンテナ等に重ねずに入れ、調製場所へ移動します（写真6）。



写真6
収穫した果実（調整前）

（3）調製のポイント

- ・収穫した果実は、病虫害被害、果皮の傷、打ち身、果頂部の裂果の程度等を確認し、出荷可能な果実を選別します。
- ・出荷可能な果実は、いちご用のパック等に緩衝材を敷いて詰めます（写真7）。
- ・出荷予定前日に収穫調製した場合は、出荷まで必ず冷蔵保存します。



写真7 パック詰め例
（いちご用パック利用）

3 花束加工用小ギク - 収穫、調製、直売用の花束づくり -

(1) 収穫・調製のポイント

1) 収穫

- ・気温の低い早朝、または夕方に収穫しましょう。盛夏の日中に採花すると強い日差しで切花の品温が高いため、気孔が開き葉がしおれ、水揚げも悪くなります。

2) 調製

- ・70cm の長さに調製する時は、葉・側枝を残して下の葉を 20cm 除去します。
- ・「病害虫の被害」、「開花しすぎ」、「ボリューム不足」に該当する切花は選別して廃棄します。
- ・花の頭を揃えて輪ゴムで結束し、茎を 70cm に切りそろえます。
 - ※・採花時にキクが降雨で濡れている場合は、濡れた葉を扇風機等で 8～9 割乾かします (図 9)。
 - ・結束後は、水揚げ時に新聞紙に包み (図 10)、出荷箱内でムレないようにします。



写真9 扇風機による風乾



写真10 風乾後の水揚げ

3) 水揚げ

- ・清潔な水(水道水等)を使用し、水揚げ用のバケツやハサミは毎日洗浄します。
- ・鮮度保持剤(キープ フラワー EX (100 倍))を入れた水(水深 10cm 程度)で 8 時間以上水揚げを行います。
- ・どうしても水が揚がりにくい時は、水揚げ促進剤(ハイスピード(原液))に切り口を 3～5 秒浸漬します。

(2) 直売用花束のポイント

1) 小ギクと組み合わせる切花の収穫・調製

アスター：採花適期は、中輪系品種は側枝の頂花開花時、小輪系品種は 30～50%開花時です。頂花と主茎の葉と不要な花芽を取りのぞき調製します。

新テッポウユリ：採花適期は、蕾の長さが 9～10cm 頃で、1 輪でも開花すると切り遅れになります。

ケイトウ：採花適期は、花首が硬くなったときで、柔らかいと水揚げ時に花首が曲がります。

グラジオラス：採花適期は、一番下の小花の花びら見え始めた時で、本葉を 3 枚程度残して採花します。長時間横に寝かせると花穂の先端が上を向き曲がるので束ねて立てておきます。

ヒマワリ：採花適期は、花卉が色付き開く前で、本葉 3 枚残し下葉を取ります。

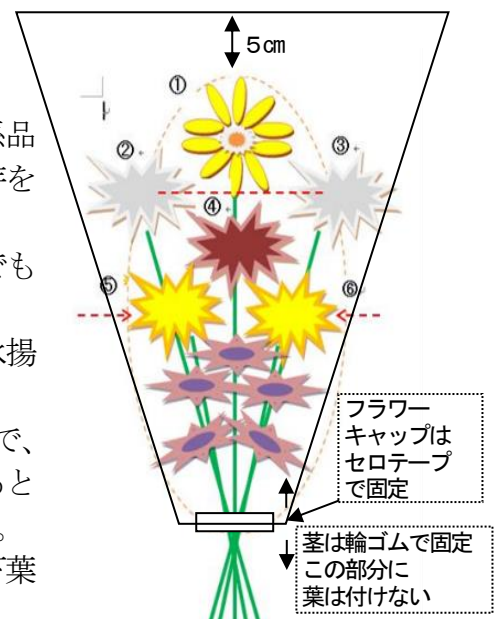


写真11 組花の構成図

2) 組花(花束づくり)

- ・中心となる小菊から順に組み、芯となる花は少し高くし、湾曲した茎は内側向け、花の頭をそろえます。
- ・硬い茎に結束用の輪ゴムを 15 cm ほど挿し込み、ぐるぐる巻き下げて縛ります。
- ・フラワーキャップに上縁より 5 cm ほど花が低くなるように入れて、セロテープで下縁を留めます。
- ・水切りして水揚げ用のバケツにセロテープが水に浸からないように入れます (写真 11)。



写真11 営農組織での組花の様子

気象災害による農業被害と対策について（8～11月）

秋になると、低気圧と高気圧が日本付近を西から東へ交互に通過し、晴れの日と曇や雨の日が交互に現れるようになります。また、台風の発生が多い時期でもあり北陸付近に秋雨前線が停滞していると、台風からの湿った空気が前線に流れ込み、豪雨となることがあります。気象災害に備えるため、日頃から気象情報をチェックするようにしましょう。

1 台風について

富山県の気象災害による農業被害は、強風が約6割、大雨が約2割を占めています。両方の性質を持つ台風は、特に8・9月が発生数及び日本への接近数が多く、農作物や営農活動に甚大な被害をもたらします。

(1) 台風の強さと大きさ

台風の勢力を示す目安として、台風の「大きさ」と「強さ」を用います(図1、表1、2)。この組み合わせで、例えば「大型で強い台風」のように呼びます。「大きさ」は強風域(風速15m/s以上の風が吹いているか、吹く可能性がある範囲)の半径で、「強さ」は最大風速で決まります。

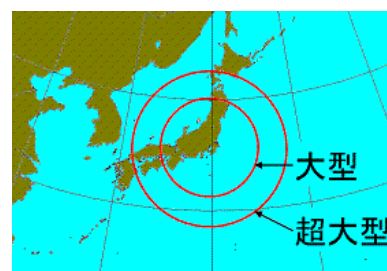


図1 台風と日本列島の大きさの比較

表1 台風の大きさの階級分け

階級	風速15m/s以上の半径
大型(大きい)	500km以上～800km未満
超大型(非常に大きい)	800km以上

表2 台風の強さの階級分け

階級	最大風速	強さの目安
強い	33m/s以上～44m/s未満	車が横転する強さ。屋外は極めて危険。 参考：令和元年東日本台風(最大風速34.8m/s)
非常に強い	44m/s以上～54m/s未満	電柱が倒れる強さ。木造住宅が倒壊する可能性大。
猛烈な	54m/s以上	鉄塔が曲がる強さ。竜巻のような強風。

(2) 台風の気象特性

台風の特長として、台風の中心に向かって吹き込む風と、台風自身の進む速度が加わるため、相対的に台風の右側で風速が大きくなります(図2)。このため、富山県では台風が通過するコースによって影響が異なります。

日本海側を通過する場合は、台風の右側が暴風域になるとともに、南風が強まることで、特にフェーンになりやすい傾向があります。日本海側の富山県に近いところを通った場合は、高潮や塩害などのおそれもあります。このコースは比較的大雨になりにくいのですが、付近に前線がある場合は雨への注意も必要です。

太平洋側を通過する場合は、日本海側からの湿った空気の影響で大雨になりやすく、通過後は西寄りの風が強まるため注意が必要です。

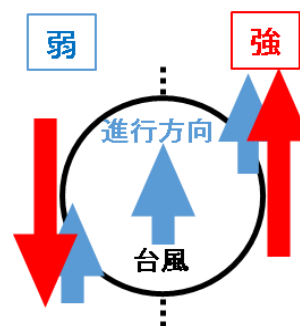


図2 台風の風の特長

2 有用な気象情報について

日本に影響を及ぼす台風に関する情報は、気象庁ホームページで見ることができます。令和2年9月9日からは、台風及び24時間以内に台風に発達すると予想される熱帯低気圧についても、5日先までの予想進路や勢力を台風情報として発表しています。

・気象庁HP：ホーム>防災情報>台風情報（QRコードは下記）



3 台風の農業被害対策（8～11月）

農業被害を防止・軽減するため、以下の対策を実施しましょう。

水稻: 出穂期や登熟期は、台風通過に伴い強風・フェーン現象が予想される場合、白穂や褐変粒等の発生を防ぐため湛水管理を行いましょ。また、強風や大雨で倒伏や潮風害が起きた場合は、未熟粒や穂発芽等の発生による品質低下がおこるので、被害の程度を確認し適期収穫に努め、被害粒は分けて乾燥・調製を行いましょ。

大豆: 強風で葉が損傷した場合は、葉焼病の発生を防ぐため、速やかに殺菌剤の散布を行いましょ。また、ほ場に長時間雨水が停滞しないよう、額縁排水溝や排水口の点検や手直しを行い、ほ場の排水に努めましょ。

園芸作物共通: 収穫期を迎えている果実、切花等は速やかに収穫しましょ。防風網、果樹棚、支柱及びフラワーネット、マルチフィルム等の点検・補強を行いましょ。作物が損傷したら、速やかに殺菌剤の散布や保護剤の塗布を行いましょ。長時間ほ場に雨水が停滞しないように、排水溝の点検や手直しを行い、特に作付け予定のほ場では排水に努め、は種又は植え付けを終えたほ場では雨水が停滞しないよう、排水溝の点検や手直しを行いましょ。

露地野菜: 白ねぎは、倒伏を防ぐため、朝夕の涼しい時間帯に土寄せを行います。また、倒伏がみられた場合には、速やかに株を引き起こし、株元に土を寄せましょ。また、台風通過後は、軟腐病等の防除を行いましょ。

果樹: ももでは、せん孔細菌病の蔓延を防ぐため、事前にICボルドー412（30～50倍）を散布しましょ。※農薬使用時は、ラベルを確認してください

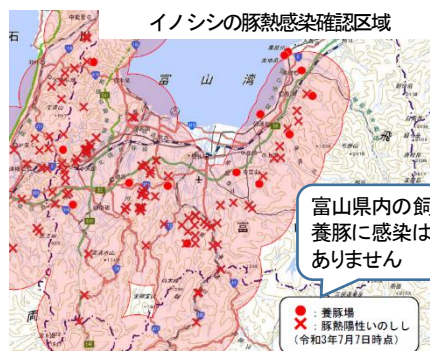
農業施設: ハウス・畜舎等の点検・補強を行い、ビニール等の資材が飛散しないように努めましょ。

※本文は、農林水産省「農業技術の基本指針（令和3年改定）」、新潟地方気象台「農業に役立つ気象情報の利用の手引き（北陸地方版）」（令和2年1月）をもとに新川農林振興センターが作成

豚熱も「ワクチン」「密回避」が感染拡大防止の要！

平成30年9月、岐阜県において、我が国で26年ぶりとなる豚熱(旧称；豚コレラ)が発生して以来、これまで14県69の養豚場で発生し、24.7万頭の飼養豚が殺処分されています(R3.7.21現在)。この感染症は、野生イノシシが媒介して感染を拡げるため、令和元年に死亡イノシシの感染が確認された本県では、ほぼ全域が食肉等の移動制限がかかる感染区域となりました。また、捕獲イノシシをジビエ利用するためには、PCR検査の陰性確認が必要となっています。

県では、豚熱の感染の輪を断つため、市町や猟友会、鳥獣被害対策実施隊と協力し、経口ワクチンの野外散布を実施しています。併せてまん延防止のための捕獲を強化し、生息密度の低減を進めています。新型コロナと同様、豚熱についても、ワクチンと密回避が終息の要となります。



耳より情報・・・農業経営者の皆さんへ♪♪

☆不測の事態に備え「収入保険」に加入しましょう！

○収入保険は、自然災害による減収や市場価格の下落、けがや病気による収穫不能など農業経営の様々なリスクに対し、収入減少を補償します。また、米、野菜、花などほとんどの農産物に加え、簡易な加工品も対象です。

○加入対象者：青色申告を行っている農業者（個人・法人）

○保険期間：個人は1月～12月、法人は事業年度開始からの1年間

○加入申請：原則として保険期間の開始前までに行い、保険金・積立金の納付を行います。

加入促進「いま」です！キャンペーン 実施中（別添チラシ参照）

令和3年度中に新たに収入保険に加入された場合、事務費に対して最大2万円が助成されます。（令和4年1月31日まで加入手続き完了）

この機会に収入保険への加入をぜひご検討ください。

※令和2年度以前から継続して収入保険に加入されている方が、新たに園芸施設共済に加入される場合、その掛金や事務費も対象となります。

※収入保険の加入の手続きやキャンペーンの詳細については、新川地域農業共済センター
TEL：0765-72-0377 へご相談ください

☆「とやま農業未来カレッジ」令和4年度の通年研修生募集中！

○県内で就農を希望する方を対象に、座学講義、作物実習、機械操作演習、農家派遣研修などのカリキュラムで1年間通年研修を実施します。

○募集期間は令和3年11月5日(金)まで、募集定員は15名です。身近に就農を希望される方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。

※カレッジ研修生の募集の詳細は同封の募集案内をご覧ください